

# 学校法人 大阪医科薬科大学 高槻高等学校・中学校の SGH 事業

本校は平成27年度にSGHアソシエイト校の指定、平成28年度にSGHの指定を受けました。研究開発のテーマは「**医科大学と一体化したアジア圏の人々の健康を支えるグローバルリーダーの育成**」です。生徒が高度な課題研究に取り組めるように、同一法人下にある大阪医科大学、大阪薬科大学をはじめ、国内は京都大学、大阪大学、神戸大学など、海外は国立台湾大学や米国スタンフォード大学、英国ケンブリッジ大学との高大連携事業や海外の高校や海外NPOとの連携プログラムを積極的に推進しています。本校のSGH事業の具体的な実践事例をアソシエイト時代から紹介します。

## 【2015年（平成27年）度 SGHアソシエイト事業記録】

- ① H26. 11. 4 京大 国際保健学講座 研究室訪問 外国人研究者（6カ国）とのワークショップ ② H27. 2. 4 海外「課題研究」中間発表（台湾）  
（国立台湾大学 公共衛生学院グローバルヘルスセンター）



- ③ H27. 4. 15 京大グローバルヘルス学際融合ユニット キックオフセミナー（京大医学部）  
ロンドン大学 ピーターピオット教授を囲んで ⑤ H27. 12. 2 若手パブリックヘルス研究者京都国際会議2016（京大医学部）



- ④ H27. 11. 16～11. 20 第1回アジアフィールドワーク（パラオ共和国）



- ⑥ 外国人若手研究者によるグローバルセミナー（若手の海外研究者からの世界の健康問題に関する英語による講義）
- ・第1回（H26.10.21）京都大学 医学研究科 Teeranee Techasrivichien 研究員（タイ） テーマ：「グローバルヘルス入門」
  - ・第2回（H26.11.18）大阪大学 人間科学部 Calvin los Reyes 博士（フィリピン）  
テーマ：「母子保健と世界の母子保健手帳」“Maternal and Child Health and MCH Handbooks Worldwide”
  - ・第3回（H26.11.25）神戸大学 国際文化学部 Atanas Kirjakovski 博士（マケドニア）  
テーマ：“Health-related topics that are difficult to talk about – overcoming shyness through peer education”
  - ・第4回（H27.6.2）京都大学 医学研究科 Christina El-saaidi 歯科医師（イエメン）  
テーマ：「イエメンにおける健康状況と複雑性」“Health situation and complexities in Yemen”
  - ・第5回（H27.6.16）京都大学 医学研究科 Mohammad Sediq Hazratzai 医師（アフガニスタン）  
テーマ：「紛争国におけるヘルスケア上の課題とグローバルヘルスに対する重要性 - アフガニスタンの事例研究から」
  - ・第6回（H27.6.23）京都大学 医学研究科 Bhekumusa Wellington Lukhele 研究員（スワジランド）  
テーマ：「一体化する世界での国境を越えた思考：若者達の知性への刺激」 “Thinking beyond borders in a connected world: Stimulating young minds”



⑦ **スタンフォード大学との共同プロジェクト**（グローバルヘルスをテーマとした半年間のオンライン座）

H27.9月～H28.2月 講座名：**SPICE/Stanford e-Course on Global Health for Takatsuki Senior High School**

	講師	内容/トピック
第1回 H27.9.19	SPICE ディレクター ゲイリー・ムカイ博士 サブリナ・イシマツ講師	コースガイダンス
第2回 H27.10.24	スタンフォード インド健康政策プロジェクト ノミタ・ディビ プロジェクトマネージャー	インドの伝統的医療と インド健康政策プロジェクト
第3回 H27.11.7	スタンフォード 健康政策センター キャスリン・マクドナルド 上級理事	公開討論と誤診の防止
第4回 H27.11.21	スタンフォード大学医学部 心臓血管医学 フィリップ・ヤング准教授	幹細胞を使った治療法
第5回 H27.12.18	スタンフォード大学 医学部 小児科学 准教授 ジェイソン・ワング博士	新たな医療制度の構築
第6回 H28.1.30	スタンフォード アジア健康政策プログラム カレン・エグレストン博士	中国 13 億人の医療制度
第7回 H28.2.20	スタンフォード大学 FS 国際研究所 スコット・ロゼル博士	中国の経済発展と 子供の栄養状態
第8回 H28.2.27	SPICE ディレクター ゲイリー・ムカイ博士 サブリナ・イシマツ講師	総合評価 コース修了者の発表



⑧ **グローバルスタディーズ特別セミナー**（国際人に求められる資質やグローバルヘルスに関する外部講師によるセミナー）

- ・ 第1回 (H26.12.2) **神戸大学国際文化学部教授 桜井 徹氏** 「グローバルリーダーとグローバルジャスティス」
- ・ 第2回 (H27.2.24) **大阪大学人間科学部講師 上田博司氏** 「世界的な公衆衛生問題とWHOの取り組み」
- ・ 第3回 (H27.6.30) **大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授 本庄かおり氏** 「拡大する健康格差—グローバルな視点から見る」
- ・ 第4回 (H27.11.10) **関西学院大学教授・国連フォーラム共同代表 久木田 純氏** 「世界のために自分でデザインする人生」
- ・ 第5回 (H27.11.24) **在大阪・神戸 アメリカ総領事館 領事 Andy Utschig 氏** “Going to the USA!”



(2) ① グローバル進路講演会

・H27. 11. 27 文部科学省 官民協働海外留学創出  
プロジェクトディレクター 船橋 力 氏  
『これからの世の中とその時に求められるグローバルマインドとは』



・H27. 12. 15 京都大学 高等教育研究開発推進センター長  
飯吉 透 氏  
『ウェブで学ぶ：無限の可能性のためのオープンな学び』



(5) ②海外連携高校での『課題研究』中間発表会 および 海外連携大学でのセミナー (台湾)

・H27. 2. 3 台北市 私立 延平高級中学



・H27. 2. 4 台北市 私立 台北医学大学



臺北醫學大學 (大阪医科大学の協定大学)  
で台湾の健康問題に関するセミナー

**【2016年(平成28年)度 SGH指定1年目 事業記録】**

① インターナショナルヤングリーダー育成プログラム 2016 3月31日(木)～4月1日(金)

**International Young Leaders Advancement Programme (IYLAP) 2016** [言語：英語]

高1 GA コース生を対象に英国ケンブリッジから来校した Blue Bridge Education (Cambridge 大学 Homerton College で公的な国際教育プログラムを委託開講) との共催で、新高校1年生 13 名に対し、英国人教員 2 名と 1 名の TA がオリジナルのカリキュラムに基づいてオール英語によるリーダーシップ研修を実施した。研修の最後には参加者が英語でプレゼンテーションを行い、修了証が授与された。



② 若手外国人研究者によるグローバルセミナー

「京都大学グローバルヘルス学際融合ユニット」との高大連携事業として、過去3年にわたり、京都大学 医学部 国際保健学講座に在籍されている若手研究者を本校に招聘し、Global Health に関するセミナーを実施している。

第7回 6月14日(火) [言語：英語]

講師：京都大学大学院 医学研究科 Dr. Omid Dadras (イラン)

テーマ：“When it comes to global health there is no 'them' only 'us.'”

第8回 6月28日(火) [言語：英語]

講師：京都大学大学院 医学研究科 Dr. Patou Musumari 博士 (コンゴ人民共和国)

テーマ：“Can technology improve global health in developing countries?: examples and recommendations”

第9回 11月1日(火) [言語：英語]

講師：京都大学大学院 医学研究科 Ms. Anita Nyaboke (ケニア共和国)

テーマ：“Nutrition An Important Key to Health”



### ③ SGH 特別セミナー

#### 第1回 6月7日(火)〔言語：日本語〕

本校と同一法人にある大阪医科大学より、公衆衛生学がご専門の河野公一名誉教授をお招きし、高大接続事業の一環として、世界の感染症について、その原因や背景、グローバル化社会におけるパブリックヘルスの役割、等についてのセミナーを実施した。「グローバルヘルス」がメインテーマである GA コースの生徒にとって極めて有益なセミナーとなった。

講師：大阪医科大学 河野公一 名誉教授（公衆衛生学）

テーマ：「**グローバル社会における感染症のアウトブレイクーパブリックヘルスの役割ー**」

#### 第2回 11月22日(火)〔言語：英語〕

本校が共同開催するスタンフォード大学オンライン講座の担当講師であるサブリーナ・イシマツ氏が来日・来校され、オンライン講座の紹介の後、日系4世である講師の家族のルーツや自身の生い立ちが、アイデンティティ形成にいかに関わっているか話された。

講師：Stanford 大学 SPICE Sabrina Ishimatsu 講師

テーマ：「**個人の経験・環境とアイデンティティの形成**」



第1回



第1回



第2回



第2回

### ④ GA コース特別集会 6月15日(水)〔言語：英語〕

スタンフォード大学 国際異文化教育プログラム (SPICE) ディレクターの Gary Mukai 博士が来校され、中3から高3までの生徒約20名に対し、特別集会を実施した。また同大学によるオンライン講座 Stanford e-Japan 第1期修了生である本校高校3年に博士から修了証が授与された。スタンフォード大学の紹介、Stanford e-Japan、Stanford e-Takatsuki について博士から説明を受けた。



### ⑤ GTEC-CBT 対策 夏期英語集中講習 8月16日(月)～8月19日(金)〔言語：英語〕

ベネッセコーポレーション グローバルラーニング課およびベルリッツ・ジャパン 梅田ランゲージセンターの協力の下、英語4技能測定のための検定試験である GTEC-CBT の対策のための夏期英語集中講習を実施した。中学3年から高校2年までの生徒約40名が、『GTEC CBT 公式問題集』を使って4日間計12時間にわたり外国人講師による対策授業を受けた。

### ⑥ ① 2016年度 次世代リーダー養成プログラム

日程：7月24日(日)～8月4日(木)

場所：イギリス連邦 Cambridge 大学 Sidney Sussex College、Oxford 大学 Lady Margaret Hall

参加生徒：21名(高2…2名 高1…19名) 引率教員：2名

4回目となる英国でのリーダーシップ研修を実施した。校内での5回の事前研修の後、ケンブリッジ大学 Sidney Sussex College とオックスフォード大学 Lady Margaret Hall を会場として、下記5つを柱とするプログラムを実施した。①グループディスカッション②英語集中授業 ③専門家によるレクチャー④個人プレゼンテーション⑤ケンブリッジ、オックスフォード、ロンドン市内観光(※③はオックスフォード大学医学部 解剖学ディレクター Tom Cosker 氏による)参加生徒の意欲は高く、将来の進路を考える上でも非常に有意義な研修となった。帰国時に、乗り継ぎ地であるアラブ首長国連邦のドバイ空港にて滑走路の事故(インドからの飛行機の胴体着陸)のため、空港業務がストップし、本校のグループも48時間足止めされるという過去にない事態が発生、あらためて安全管理の重要性に気づかされた。



## ② 2016年度 次世代リーダー養成プログラム プレコース ボストン語学研修 + ホームステイ

日程：7月23日（土）～8月1日（月）

場所：アメリカ合衆国 ボストン、ニューヨーク

参加生徒：46名（高1…12名 中3…34名）引率教員：4名

本年度のプレコースは次年度以降のモデルとなることを目指し、下記の7つを柱とした。①世界屈指の文教都市ボストンでのホームステイ、②ホームステイ先からの公共交通機関（地下鉄・バス）による通学、③本校生でクロズドの英語研修と英語での個人プレゼンテーション、④世界のトップ大学（ハーバード大、MIT）への訪問および学生・院生との交流、⑤外部講師による英語でのレクチャー（ビジネスとサイエンス）、⑥ボストンでのアメリカ史の学習、⑦ニューヨーク観光

ハードなプログラムにもかかわらず、46名もの生徒が参加し、意欲の高さが伺えた。一定の規模感をもって本校生のグローバルマインドの醸成に資すると期待される。



## ⑦ 2016年度 スタンフォード大学オンライン講座 9月17日（土）～3月〔言語：英語〕

### Stanford e-Course on Global Health for Takatsuki Senior High School 2016-2017

(<http://spice.fsi.stanford.edu/news/global-health-takatsuki-senior-high-school>)

世界レベルの研究者からグローバルヘルスの重要性を直接に学ぶ機会を提供するため、本校とスタンフォード大学国際異文化教育プログラム（the Stanford Program on International and Cross-Cultural Education (SPICE)）が共同で提供するインターネットオンライン講座が2年目を迎えた。この講座では、同大学フリーマン・スポグリー国際研究所（FSI）や同大学医学部等に所属する研究者の先駆的な国際的取り組み事例を紹介している。本校生の課題研究の大きなテーマである Global Health にフォーカスしていることから、講師に直接、自分の取り組みに関することについても尋ねることができる。受講者は、9月から来年3月までに計8回のライブのバーチャルクラス（すべて英語）に参加し、事前事後の課題提出を求められる。本年度は、14名の全課程修了者に「コース修了証書」が授与された。全ての講座は録画保存されており、データベース化してSGH事業の教材として活用できる。

#### 【2016年度のVC（バーチャルクラス）】

第1回 9月17日（土）

講師：SPICEディレクター Gary Mukai 博士、Sabrina Ishimatsu 講師

テーマ：コースオリエンテーション

第2回 10月22日（土）

講師：TeachAIDSアシスタント Devika Patel 講師、Christine Lynn Chen 講師、Jonathan Pang

テーマ：TeachAIDSの活動とグローバルヘルスでの活動歴の紹介

第3回 11月5日（土）

講師：スタンフォード大学医学部メディカルセンター（心臓血管医学）Phillip C. Yang 准教授

テーマ：Stem Cell Research（幹細胞療法）

第4回 12月3日（土）

講師：スタンフォード大学FS国際研究所 Scott Rozelle 博士

テーマ：Poor Vision Care and Educational Performance in China's Rural School System

（中国の辺境部の学校教育における視力ケア教育活動）

**第5回** 12月17日(土)

講師：スタンフォード大学 肥満専門医・JumpstartMD 共同創設者 Conrad Lai 博士

テーマ：肥満

**第6回** 1月28日(土)

講師：カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部 精神科学 助教

(サンフランシスコ公衆衛生局 OMI ファミリーセンター) Karen J. Mu 博士 (精神科医)

テーマ：Global mental health (世界のメンタルヘルス)

**第7回** 2月25日(土)

講師：スタンフォード大学 医学部 小児科 教授 Paul Wise 博士

テーマ：Guatemala Rural Child Health and Nutrition Program through Stanford University

(スタンフォード大学によるグアテマラ山村地域における子供の健康・栄養プログラム)

**第8回** 3月11日(土)

講師：SPICE ディレクター Gary Mukai 博士、Sabrina Ishimatsu 講師

テーマ：総括と修了証の授与



**⑧ Stanford e-Japan 2016 秋コース** 8月27日(土)～11月12日(土)

**個人プレゼンテーション** 11月29日(火)

アメリカの社会と文化を学ぶため、日本全体から選抜された高校生に対してスタンフォード大学国際異文化教育プログラムが実施するオンライン講座「Stanford e-Japan 2016 年度 秋コース」に本校から GA コースの高2生2名を受講者として推薦・申請し、全国で約30名の高校生とともに両名とも受講資格を得た。週3～4時間の学習時間を割り当てながら60分間の英語でのバーチャルクラスに11回参加することが求められる。第1回バーチャルクラスは8月27日にスタートされ、11月12日に最終回を終えた。その後、2名は11月29日に個人プレゼンテーションを約100名の生徒の前で実施、英文で個人レポートをまとめた。両名とも無事課程の修了が認められ、3月18日の終業式で校長より修了証が授与された。



**⑨ パラオフィールドワーク 事前セミナー** 10月27日(木)

11月のフィールドワーク実施に向け、大阪大学の三田准教授からパラオ共和国について様々な観点から説明を受けると同時に生徒それぞれの課題研究に対するアドバイスを頂いた。

講師：大阪大学 未来戦略機構 三田 貴 准教授

テーマ：「パラオ共和国と日本 ― 過去・現在・未来 ―」

⑩ 高2 第2回 アジア フィールドワーク (パラオ共和国) 11月13日～11月18日

昨年に引き続き、パラオ共和国にてフィールドワークを実施した。現地では多くの関係者のご協力を得て、有意義なプログラムが実施できた。本プログラムは下記の5つの柱から構成されており、大阪大学未来戦略機構 三田 貴准教授のご指導とご支援の下、実施しているものである。

- (1) 現地連携高校 (Mindszenty High School)での学校交流とホームビジットによるインタビュー  
今年度は、教育省の仲介により、国立パラオ高校へも訪問、学校間交流が実施できた。
- (2) パラオ政府機関 (保健省・国立ベラウ病院・教育省) への訪問とセミナー、インタビュー
- (3) 在パラオ日本大使館 表敬訪問と大使館職員による特別セミナー
- (4) 現地のライフスタイルを理解するための現地 NPO 職員の指導による山村フィールドワーク
- (5) 太平洋戦争激戦の地ペリリュウ島訪問と現地 NPO 職員の協力による島民との対話集会、インタビュー、気候変動の現状を知るフィールドワーク
- (6) 前駐日パラオ全権大使ウエキミノル氏によるセミナー。

訪問先では、本校の「課題研究」に対する高い評価を頂き、充実した研修を行うことができた。

【支援機関・支援者】

- ▷ 大阪大学 未来戦略機構 三田 貴准教授
- ▷ 在パラオ日本国大使館 富田晃次 参事官、近藤瑞穂 書記官
- ▷ 前駐日パラオ全権大使 Minoru Ueki 氏
- ▷ ミンゼンティ高等学校 Rich McAuliff 校長、Toluk Sakuma 教諭
- ▷ パラオ政府 保健省 Gregorio Ngirmang 保健大臣、Eden 公衆衛生局長、Debbie 医療サービス局長、Darneue 健康行政局長、Rufina 看護局長、Omengkar Wally アドミニストレーター
- ▷ パラオ政府 教育省 Raynold Mechol 学校管理部部長
- ▷ 国立パラオ高等学校 Smyth Rdang 校長
- ▷ パラオ環境保護協会(NPO) Bernie Ngiralmu 氏
- ▷ パラオ地域社会行動局(NPO) Leonard Gork Basilius 氏
- ▷ ペリリュウ島の島民の皆様



伝統建築 バイ



KBブリッジ



教育省セミナー



国立パラオ高校



保健省



ミンゼンティ高校



ペリリュウ島



島民との対話集会



日本大使館セミナー



オール村フィールドワーク



戦跡

ペリリュウ島



島民の方



戦跡



千人洞窟

## ⑪ 2016年若手パブリックヘルス研究者 京都国際会議 見学 12月14日(水)

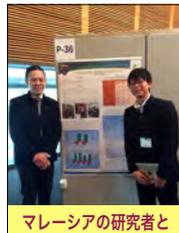
### 2016 Kyoto Global Conference for Rising Public Health Researchers

場所：京都大学医学部 芝蘭会館

京都大学グローバルヘルス学際融合ユニットよりお誘いを頂き、京都大学医学部社会健康医学系専攻が主催する、文科省スーパーグローバル大学創成支援事業 京都大学ジャパングートウェイ構想による標記の国際国際会議(ステージプレゼンテーション、ポスターセッション)の一部をGAコースの生徒7名が見学した。“Universal Health Coverage and Health Economics”をテーマにロンドン大学、国立台湾大学、マラヤ大学、チュラロンコン大学(タイ)などからの若手の研究者による数多くの発表が行われた。ポスターセッションでは海外研究者に本校生が直接英語で質問し、また夕方からのレセプションにも参加させて頂くなど、緊張感の中にも本物のアカデミズムの場が体験できた。



ポスタープレゼン会場



マレーシアの研究者と



ロンドン大学の研究者と

## ⑫ 延平高級中学代表団来校に伴う歓迎行事

日時：1月23日(月) 午前10時～午後3時30分

来校者：教職員7名(劉永順 校長、馬根善 学務主任、彭敬淑 教諭、張文斌 教諭、鄧佳紋 教諭、葉曉青 教諭、盧美姮 校長補佐)、生徒 54名

例年2月にGAコースが実施している高1海外課題研究中間発表会の開催場所として大きなご協力を頂いている台湾 台北市 私立延平高級中学の一行が来校、コースを挙げて歓迎行事を実施した。高2生徒の司会による多目的アリーナ棟での歓迎式、台湾生徒による4つのプレゼン発表の後、生徒食堂で歓迎ランチを行った。午後からは、本校生による校内案内、吹奏楽部によるショートコンサートの後、台湾生徒が3グループに分かれ、3会場でGAの各クラスが企画したプログラムで生徒間の交流を実施した。本校生は台湾生徒の語学力の高さにあらためて驚かされると同時に、自らの学習にもよい刺激となった。



## ⑬ 高1 第3回「課題研究」中間発表会(台湾研修)

平成29年2月20日(月)～2月23日(木) 生徒：高校1年11名 教員：3名

訪問先：私立延平高級中学、国立台湾大学 公共衛生学院、私立台北医学大学 公共衛生学院、富士ゼロックス台湾、王鼎精密股份有限公司

昨年に引き続き、台湾・台北市の連携高校である私立延平高級中学を訪問し、本校生の「課題研究」の中間発表を実施した。また、連携をお願いしている国立台湾大学 公共衛生学院 (College of Public Health, National Taiwan University)へも3度目の訪問を行い、国立台南第一高級中学の生徒12名、高雄市立高雄高級中学の生徒12名、国立台湾大学の学生12名とアクティブラーニング形式で「世界の疾病負荷 (Global Burden of Diseases)」に関する協働学習を実施した。さらに、大阪医科大学の協定大学である私立台北医学大学へも訪問。台湾の医療の現状について、大学理事の李宏信医師および公共衛生学院長の郭乃文から説明を受けた後、張 璽准教授(小児科)から台湾の医師育成制度や、自身の経験に基づく留学についてのアドバイスを頂いた。また、日本企業(富士ゼロックス台湾)および新興の時計メーカーである台湾企業(王鼎精密股份有限公司)を訪問し、企業のグローバル展開や社会貢献活動について学んだ。多くの関係者のご協力を得て、有意義なプログラムが実施できた。



延平高級中学



国立台湾大学(3高校協働学習)



国立台湾大学 公共衛生学院



台北医学大学 公共衛生学院



JTB 台湾社長講演



富士ゼロックス台湾



王鼎精密股份有限公司



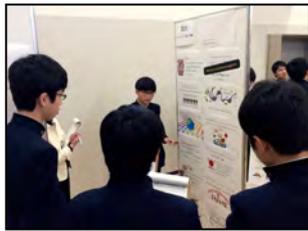
故宮博物院

#### ⑭ 本校 SGH 事業公開発表会

日時：平成 29 年 2 月 25 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 2 時 30 分

会場：本校 多目的アリーナ棟、小講堂

外部の関係者を招待し、第 1 回となる本校の SGH 事業の発表大会を校内にて開催した。中学 3 年から高校 2 年までの各学年の SGH コースの代表生徒による口頭発表および高 1・高 2 の生徒 51 名による個人ポスター発表を実施した。SGH コースの生徒全員がこの発表会で発表を行い、生徒同士での評価を行うことができたことは本校として一つの新しい教育活動ができたにとらえている。また、この発表会の機会を利用して、⑦ 2016 年度 スタンフォード大学オンライン講座の第 7 回のバーチャルクラスを一般公開した。



#### ⑮ 全国スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会「SGH 甲子園」

(平成 28 年度 文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業)

日時：平成 29 年 3 月 19 日（日） 10:00～17:00

場所：関西学院大学

【課題研究プレゼンテーション（口頭発表）】

テーマ：「世界が抱える肥満問題～驚くべき肥満の原因と現状～」

【課題研究ポスター発表】

- ① 「『食』と寿命の関係について」
- ② 「アジアを中心に考える生活環境に合わせた教育」
- ③ 「在留外国人の教育問題～在留外国人は適切な教育を受けられているのか？～」
- ④ 「地球温暖化について」
- ⑤ 「アジアの屋台文化と衛生問題」

